

奈良県防災総合訓練（案）

資料 7

1 訓練の名称

奈良県防災総合訓練

2 開催場所

生駒山麓公園、生駒市体育協会滝寺 S. C.（市民体育館）

3 開催日時

平成29年9月10日（日）午前9：00～正午（予定）

4 開催理由

奈良県防災総合訓練は、災害対策基本法及び奈良県地域防災計画に基づき、奈良県と市町村との共催により毎年度実施している。

県内を6つのブロックに分け、各ブロック持ち回りで、当該ブロック内の市町村と奈良県とが共催している。

5 訓練の概要

防災総合訓練は、県内で大規模な災害が発生したと想定して実施するもので、警察・消防・自衛隊等の各参加機関が、火災が発生したビルや、倒壊した家屋、事故車両等から被災者を救出するなど、専門的な技術を要する訓練が行われる。

奈良県防災総合訓練について

資料1

1 概 要

①	主 催	県・市町村の共催
②	訓練会場	<p>(被災地訓練会場) 概ね 100m × 100m 程度 (水利が必要であるが、水槽設置で対応可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場や駐車場が手狭な場合は分散可 ・掘削が可能であることが望ましい (被災ビル等の建造物、電柱等の設置) <p>(避難所訓練会場) 住民参加型訓練の会場として、主に避難所開設・運営の実施を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練参加者の駐車スペースの確保 (必要に応じて参加住民の駐車スペースも)
③	駐 車 場	<p>合計 600 台程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練車両約 125 台、招待者駐車場約 200 台、資機材車駐車場約 100 台、見学者駐車場約 150 台、バス・マイクロバス約 25 台程度 ・訓練車両用約 125 台と VIP 用 30 台程度は会場近くが望ましい ・駐車場から訓練会場までの距離が遠い場合はマイクロバスの運行が必要
④	ヘリポート	<p>50m × 50m の平地が必要 (中型ヘリが離着陸する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練会場外の場合は車で移動できる距離
⑤	参 加 者	<p>合計約 2,000 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練参加者約 1,200 名、関係機関見学者約 200 名、一般見学者約 600 名
⑥	実 施 日	奈良県防災の日・防災週間の実施が望ましい (地震 7 月、水害 8 月、土砂災害 9 月)

2 スケジュール 資料 2 を参照

3 主要業務の分担

①	県 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練参加機関との連絡調整及び打ち合わせ会議の開催、運営 ・招待状、駐車証、要綱等の作成、発送、配布 ・アナウンス原稿の作成及び当日アナウンス ・県関係の受付 ・訓練全体の進行管理 ・訓練車両の訓練会場への入退場管理 (市町村と合同で) ・災害食の準備 ・テント、机、いす、放送設備、その他会場設営に伴う業務 (仮設ビル等を除く) ・訓練車両駐車場の各機関駐車位置の割り振り ・報道発表等による広報
②	市 町 村 (消 防) 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練会場の選定及び借用業務 ・訓練会場付近の自治会、水利組合等との調整 ・打ち合わせ会議場の手配 ・各駐車場の確保、誘導看板等の設置、訓練当日の立番及び誘導 ・自己訓練 (初期消火等) の種目設定及び参加者 (住民・自主防災組織・消防団・日赤等) との調整 ・市町村関係の受付 ・訓練車両の訓練会場への入場管理 (県と合同で) ・炊き出し訓練用の給水車の手配及び訓練時の湯茶の準備、接待 ・災害食の盛りつけ及び配布等 (県、日赤奉仕団等と合同で) ・仮設ビル、倒壊家屋、事故車両の設営に伴う業務 (必要により仮設トイレ等も) ・ゴミ収集車の手配 ・広報誌等による広報 ・避難所開設・運営等住民参加型訓練の検討・実施 (H24～実施)

奈良県防災総合訓練実施までの流れ

資料2

